

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会議の名称	市民会議（第5回都市自治分科会）
開催日時	平成18年2月28日（火）午後6時30分から8時30分
開催場所	宇都宮市役所 14階 B会議室
出席者	（市民委員）中村会長，浅見副会長，浅野（薫）委員，浅野（政）委員，川又委員，小針委員，清水委員，高野委員，橋立委員，船津委員 （欠席：柿沼委員） （市事務局）
会議内容	・重点課題の議論
会議資料	第5回資料
発言者	発言内容
進行	それではこれから第5回分科会を行います。今回の分科会では，前回の重点課題の議論の続きを行います。それに先立ちまして，委員からのご質問に対して事務局から回答があります。
事務局	ご質問のうち，分科会の委員のもともとの希望分科会と実際の所属の関係については，今回は全委員がもともと希望していた分科会に所属されております。 市民会議のホームページにつきましては，ただいま作成中です。今しばらくお待ちいただけましたら幸いです。 また，他の分科会の日程についてのご案内も今後はさせていただきます。
進行	第5回分科会では，強み×脅威そして弱み×脅威の議論を行います。お手元のシートに，強みと脅威，弱みと脅威の組み合わせで，重点課題を記入してください。
各市民委員	（各市民委員記入）
進行	それでは発表をお願いいたします。
各市民委員	（それぞれに発表）
事務局	前回，今回とで，強み・弱み・機会・脅威の視点を用いて，共通の観点から重点課題を検討しました。これからは，提示いただいた重点課題を，特

	<p>に優先順位の高いものに絞込み，更に絞り込んだ重点課題に対応する施策や事業について検討をしていきます。</p> <p>今回は時間の関係上，絞込みまでは難しいため，重点課題を絞り込むにあたって必要な視点について議論することで，次回以降，スムーズに議論を進められたら幸いです。</p>
市民委員	<p>行政と市民との協働に加えて，市民同士の協働という視点が必要と思います。例えば，自治会活動と NPO 活動との接点がありませんように思われますが，こうした主体同士の協働の機会の確保が必要ではないでしょうか。</p>
市民委員	<p>市民にとって，行政が提供する情報がわかりにくいように思う。行政の情報を市民が共有する，また逆に市民側の情報を行政が共有する仕組みづくりが必要です。</p>
市民委員	<p>市民が行政や地域に関する情報を十分得ていない原因の一つは，市民自身が積極的にまちづくりに参画しないことがあるのではないのでしょうか。市民の積極的参画が必要と思います。</p>
市民委員	<p>私としては，最近の LRT をめぐる意思決定は，市民が十分知らないまま進められているように思います。重要な意思決定については，市民が計画段階からきちんと把握することが必要ではないでしょうか。</p>
市民委員	<p>行政に関する情報については，市民は知ろうと思えば市民は把握することができる。むしろ情報が得ることが難しいのは NPO に関する情報です。NPO 活動を市民が十分に把握できる環境づくりが重要だと思います。</p>
市民委員	<p>自治会・町内会は，中心になって運営する市民の高齢化が問題になっています。自治会・町内会の世代交代を進めていく仕組みが必要だと思います。</p>
市民委員	<p>団塊の世代が退職し，大量に地域に市民がまもなく流れ込んでくる。こうした市民を地域がどう受け入れるかが今後重要な課題となると思います。</p>
市民委員	<p>市内でボランティア活動に参加した中学生が，参加の喜びを強く感じたということがあります。子どものうちから，地域に参画する喜びを得ることが，今後の地域づくりにとって重要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>ご発言いただいた視点をまとめ，次回の分科会に提示します。次回，重点課題の絞込みにあたっては，今回議論した視点を参考としましょう。</p>

進行	<p>皆様おつかれさまでした。次回の日程は3月28日（火）18時半からですが、次々回についても今のうちから決めましょう。</p> <p>3月25日（火）18時半からにしましょう。場所は後日ご連絡いたします。それでは以上で第5回の市民会議都市自治分科会を終了します。ありがとうございました。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------